

豊島区長崎生まれ。中央大学商学部を卒業しキヤノンに入社、その後豊島区に転職。区文化工部長や副会長事務局長を歴任。ヨネクラシステムに在籍中プロホビーソフトC級ライセンスを取得し現在もソムリエ通いを楽しめる。趣味は格闘技、ゴルフ、読書及びゴルフ。

- ※1 担当(カサキ)：1930年～2014年。平成18年豊島区図書館行政策顧問に就任。「図書館通信」の編集指導・助言を行う。
 - ※2 伊藤英洪(いとう えいこう)：1922年～2016年。豊島区史編纂委員、豊島区図書館専門研究員、豊島区発行書籍に「近頃の雑言」など多数。
 - ※3 図書館課長：図書館業務を行い、来館者にサービスを提供する人のこと。司書も図書館課長に含まれる。
- 豊島区長崎生まれ。中央大学商学部を卒業しキヤノンに入社、その後豊島区に転職。区文化工部長や副会長事務局長を歴任。ヨネクラシステムに在籍中プロホビーソフトC級ライセンスを取得し現在もソムリエ通いを楽しめる。趣味は格闘技、ゴルフ、読書及びゴルフ。

私が中央図書館長だったのは平成18年度の僅か1年その間に新中央図書館の開設準備をはじめ雑司が谷図書館の廃止や白目図書館の大規模改修など課題山積な1年であった。新中央図書館は豊島区初の市街地再開発事業を成功に導くために、区が約70億円という巨費を投じて確保床を購入したものだ。かつて再開発課の職員として事業に携わった私には、その重要性が十二分に理解できた。

当時、図書館行政策顧問であった粕谷一希先生(※1)の理想は高く、職員が丸一となって特色ある図書館創りにまいり進んだ。新館の目玉として、トキワ荘を始めとしたソムリエや落語のコーナーを企画した。中央図書館に隣接するサウナアソシエーションは東横アソシエーションの跡地にあるため、地元自治体の責務として東京裁判官も資料も充実させた。文化の発信装置としては、この図書館通信や地域研究サミナーを用意した。特に、私の中学時代の恩師である伊藤英洪先生(※2)に就いて、図書館専門研究員としてセミナーの講師をはじめ、様々な面をご指導をいただいた。図書館専門研究員としてセミナーの講師をはじめ、様々な面をご指導をいただいた。図書館専門研究員としてセミナーの講師をはじめ、様々な面をご指導をいただいた。



栗原 章 公益社団法人 豊島区シルバー人材センター事務局長

1942年大阪生れ福岡育ち。1965年TBS入社。ラジオ・テレビの制作担当。2009年大正大学表現学部教授

「師達の仕事には責任がある。職についてくれる人に確実に伝える為の技と、言葉だ」フジさんには、こう教えられた。

「飾ることなく普通の言葉で伝える。活字での表現とは違ふのだから」と、私の放送人としての指針を最初に教えてくれた先輩。中村文男さんは、長野の高校を卒業、夜間大学に通いながら放送局でアルバイト、その後社員となるも、現場1942年大阪生れ福岡育ち。1965年TBS入社。ラジオ・テレビの制作担当。2009年大正大学表現学部教授

第6回 「我が師匠 フジさんの特技」

NPO法人「としまの記憶」をつなぐ会 副代表理事 小櫻 英夫



「我が師匠 フジさんの特技」

あなたの身近にSDGs

こちらのコーナーでは、ランダムに17のSDGsゴールをご紹介します！

今号のゴールは 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



電力を利用して経済が発展する一方、排出された温室効果ガスによって重大な環境問題が引き起こされています。地球を守りながら電力を供給するために、クリーンなエネルギーが注目されています。

- としまでできるSDGsチャレンジ
- 1 買い替えの際には省エネ商品を選ぶ
 - 2 使っていない電化製品のコンセントは抜き、電気をこまめに消そう
 - 3 電気バス「IKEBUS」などの公共交通機関を使って移動しよう

出典：「としまSDGsチャレンジブック」2021年 豊島区政策経営部企画課

『としまSDGsチャレンジブック』の詳しい内容はこちら PDF 9.7MB

豊島区SDGs特設ホームページ「としまSDGsアクション」からまちの未来につながるアクションを見てみよう！

発行 ● 豊島区立中央図書館 〒170-8442 東京都豊島区東池袋4-5-2 ライズアリーナビル4階・5階 電話 ● 03-3983-7861 FAX ● 03-3983-9904 ホームページ ● https://www.library.toshima.tokyo.jp/ 発行日 ● 令和4年7月

豊島区立中央図書館報

としまでできるSDGsチャレンジ

図書館通信

第64号 季刊(夏) 2022

トピックス

祝！ 豊島区制施行90周年

～輝く未来 開こう としま新時代～

- 巻頭言 …… 公益社団法人 豊島区シルバー人材センター事務局長 栗原 章
- 記憶のなかの人たち …… NPO法人「としまの記憶」をつなぐ会副代表理事 小櫻 英夫
- 図書館と私～まちの中での場の創出～ …… 豊島区立巢鴨図書館 司書
- 生涯の一冊 …… 豊島区教育長 金子 智雄
- この本カフェ「道」 …… としまコミュニティ大学マナビト生
- マンガ・アニメで多文化理解!? …… 東京外国語大学卒業生 神田 詩野
- 監修：東京外国語大学大学院 准教授 幸松 英恵
- 図書館から見る豊島区の歴史 …… 豊島区立中央図書館 司書
- おもてなし巢鴨図書館 …… 豊島区立巢鴨図書館 館長 星 弘一





**豊島区教育長
金子 智雄** (かねこ ともお)
1960年生まれ。1986年、東京大学法学部卒業。
1986年豊島区入庁後、2020年1月まで33年9か
月勤務。うち2006年4月～管理職歴13年9か月
(区長室、広報、財政、人事)。うち2016年子
ども家庭部長、2018年政策経営部長。2020年1
月5日より現職。



景気より人口！数字はウソをつかない。

これを書いている2022年5月現在、ウクライナ情勢や原油価格の急騰など、日本では物価「高騰」への対策が専らのニュース。そんな中で、本書を推すことに若干の躊躇を抱きつつ、今なぜ？と思っていただくのもいいかなと思い、本書を選択しました。

本書が世に出た12年前、私は豊島区の財政業務を担当していました。当時ベストセラーになり、また新書版ということもあって、軽い気持ちで読んでみたところ、大きな衝撃を受けました。

経済分析の本であるものの、「著者が累計三千回以上行ってきた講演経験を基に構成し」た本書の語り口は、とても平易で学術書に特有の読みづらさは全くありません。

また、著者は「平成合併前の約3200市町村の99.9%、海外59ヶ国を概ね私費で訪問した経験」から、帰納的な論述につき大変自信に満ちており、私も具体的に実践的な姿勢に共感を感じました。

著者の結論は明瞭で、「経済を動かしているのは、景気の波ではなくて人口の波、つまり生産年齢人口＝現役世代の数の増減だ」ということです。本書刊行後暫くして、「消滅可能性都市」が話題を呼び、人口減少問題が一躍、日本の最重要課題になりました。「消滅可能性都市」の指摘から、豊島区が「国際アート・カルチャー都市」を掲げ、「地方との共生」への真摯な姿勢が必要であった理由を理解するためにも、長期デフレ傾向とその根底の人口減少という日本の根本問題を知ることが、極めて重要だと思います。

今回あらためて読み直してみましたが、本書の分析や処方箋は現時点でも、くっつけて色褪せていません。処方箋として3つの提案が書かれていますが、これは12年前の「未来予測」でもあります。果たして12年後の今、これらの政策提案は実現したのか。していない部分は、予測が間違ったのか、現政策の方が間違っているのか。ぜひ読者自ら判断し、また、読者同士で議論されれば幸いです。

エビデンスにあふれる啓発の書でありつつ、極めて論争的な本書。著者に出会って良かったなと思った次第です。

図書館と私 ④

～まちの中での場の創出～

第2回 豊島区立巣鴨図書館 司書
(全4回)



「移動図書館とSDGs」

子どものころ、一度だけ、「あけぼの号」に遭遇したことがあります。駅前に付く不思議な造りの自動車、その車内に現れた小さな書庫。いつも通っている千早図書館とは一味違う非日常感に、大変ワクワクしたことを覚えています。

今回のテーマは、「移動図書館とSDGs」。まずは、SDGsの基本理念である「誰一人取り残さない」について、公共図書館にできることを考えてみましょう。

従来、地域館の標準的利用圏は、概ね半径1kmと言われていました。試しに、豊島区の地図を広げて、7つの図書館と雑司が谷図書貸出コーナーを中心にした半径1kmの輪を書いてみました。すると、豊島区のほぼ全体が8つの輪の中に納まりました。現状、「誰一人取り残さない」＝「全ての『地域』に図書館を」という目標は、達成できているように見受けられます。

しかしながら、現在でも、既存の利用圏では対応しきれない方々は確実に存在します。「そよかぜ文庫」(豊島区立図書館の配送サービス)は利用していないけれど、1km歩くのはちょっと辛いという高齢者の方。まだ長い距離は移動できない小さなお子さんや、その保護者の方。そんな「図書館に行きにくい」方々のため、老人福祉施設や保育園、区民ひろば、公園など、身近な場所に図書館から出向くことができれば、「誰一人取り残さない」＝「全ての『人』に図書館を」の実現に近づくのではないのでしょうか。

移動図書館「あけぼの号」は、単なる出張サービスではなく、1966年、豊島区初の図書館である豊島図書館(現・中央図書館)の次に開館した、いわば2館目の図書館でした。68年に巣鴨図書館が開館するまでの2年間、地域館としての役割を一手に引き受け、その後も区内を巡回。区内各地域に8館の図書館が完成した翌年、その役目を終えました。こうして見ると、図書館の利用圏から外れる地域・人をカバーする、「移動図書館」という存在そのものが、「誰一人取り残さない」を形にしたものだったと言えるかもしれません。



Café KONOHN
この本カフェ

28杯目

今回のテーマ

道



「ロードマップ」という言葉がある。直訳では道路地図のことだ。これがビジネスシーンでは、「目標達成のための実行計画表」という意味になる。前向きな響きの言葉だが、過去の結果や成果を検証する際に参照されるのもロードマップだ。

人にもコミュニティにも、たどり来た道がある。人生やコミュニティのプランを見つめ直す機会は、時々あってよい。

書名 『FACTFULNESS(ファクトフルネス)』

10の思い込みを乗り越え、データを基に世界を正しく見る習慣

ハンス・ロスリング、オーラ・ロスリング、アンナ・ロスリング・ロンランド／著
上杉周作、関美和／訳 日経BP社 2019年1月

コロナパンデミック、絶えない紛争、地球温暖化、未来はどうなってしまうのか。不安や恐怖が膨らみ、私たちはネガティブ思考からなかなか抜け出せない。まず落ち着いて「ファクトフルネス」10の本能を抑えながら、身の回りや世界を正しく見る訓練をしたい。まわりで起きている事に関心を持ち、溢れる情報を正しくアップデートし、どんな世界になろうとも良い情報にも目を向け、悪い事ばかり起きてはいないと認識し、悲観しすぎず前向きに生活していきたい。未来が明るいことを信じて。

【鎌田 和枝(かまた かずえ)】



書名 『じっちょりんのあるくみち』

かとう あじゅ／作・絵 文溪堂 2011年5月

雑草の種を運ぶ不思議な生き物のお話です。お父さん、お母さん、お兄ちゃん、妹の4人家族。アリのような触覚と、2本の脚、2つの腕があります。団地の隅で朝ご飯を食べた後、種をまきに町に出かけます。小さな生き物なので猫を怖がり、道路を横断するのも大変です。人間に踏まれそうになるとマンホールのくぼみに隠れます。身の回りの雑草もひとつひとつ覚えよう。小さな生き物から見る世界は、これまた不思議に満ちています。観察眼が育つ素晴らしい本です。

【辻 秀幸(つじ ひでゆき)】



書名 『〈日本人〉の境界』

沖縄・アイヌ・台湾・朝鮮 植民地支配から復帰運動まで

小熊英二／著 新曜社 1998年7月

日本は、国防という大義名分のもとに琉球、アイヌ、韓国を併合し、そこに住む人々を「日本人」として包摂してゆきました。それは、日本が「欧米」の存在を意識しながら、欧米に対する劣等感の裏返しだと思えます。

日韓併合を正当化するための「東洋平和」と教育による「日本人」化。だが、国内的には「日本人」から排除するという体制が築かれていく。日本が「いつか来た道」を辿らないためにも、日本を過度に賛美する風潮には距離を置きたいところだ。

【高橋 和子(たかはし かずこ)】



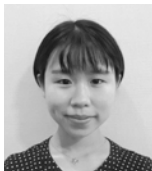
マンガ・アニメで多文化理解?

～7つの国と地域の学生がお互いの文化を楽しみながら学び・共感したことは～

「東アジア文化都市2019豊島」でも、西安(中国)と仁川(韓国)と豊島区をつないだ一つの文化が日本のマンガ・アニメ。多文化共生の視点で一度読み終わったマンガ・アニメを手にとると…。そこには「相手を知る・自分を知る」新たな発見が!!

「カワイイ」は日本文化? 外国語との比較から見えてきたもの

東京外国語大学 国際社会学部 2022年3月卒業
神田 詩野 (かんだ しの)



今年の1～2月に、東京外国語大学が開催する日本文化研究プログラムに参加する機会を得た。このプログラムの目的は、日本語を学ぶ外国人留学生と共にアニメ・マンガを通して日本文化の特徴を見出すことだ。私は韓国、中国、台湾から来たメンバーと「『美少女戦士セーラームーン』の変身は何を意味するのか」をテーマに研究することになった。議論を重ねる中で、セーラームーンの変身後の衣装などに日本の「カワイイ文化」が見られるという意見が出た。この「カワイイ文化」という言葉は以前から耳にしていたものの、メンバーの出身地と日本の文化は比較的似ており、各言語を見ても日本語の「カワイイ」に相当する単語があるため、本当に日本独自の文化と言えるのか疑問に感じた。しかし、さらに話を聞くと中国・台湾で日本語の「カワイイ」に相当する「可愛(クーアイ)」は子供に対してしか使わず、韓国語の「귀엽다(キョップダ)」は「カワイイ」より大人っぽい容姿を意味するようだった。

辞書の上では同じ意味を共有している言葉であっても、その言葉が持つニュアンスは各言語によって異なる。当たり前のようについて意識しにくいこの事実に初めて気づかされたのは、多和田葉子さんの「エクソフォニー」を読んだときだっ

た。エクソフォニーとは母語の外を出た状態を意味する。多和田さん自身も母語である日本語と第二言語であるドイツ語で執筆活動をしており、筆者は文中で、母語でない言語で創作することこそ、その言語を日常的に使用しているネイティブスピーカーに比べてより敏感に言葉の特徴を感じ、潜在的な魅力を引き出す可能性がある」と説いていた。

今回のプログラムは、まさに日本語を外国語として学ぶ留学生が参加したからこそ、私自身が気づかない日本語・日本文化の特徴を発見することができた。最終的に、私たちは上述した議論をもとに「カワイイ」が日本文化であるとしたうえで、セーラームーンの変身では海外の変身ヒロインのように強くなるだけでなく、日本で可愛いとされるセーラー服を身につける点に日本の「カワイイ文化」が表れているという結論に至った。

私は議論開始時に、メンバーの母語に「カワイイ」に似た単語があることから「カワイイ文化」が日本独自の文化であるか懐疑的であったが、そもそも日本語の「よろしく」に対応する英語が無いように、異言語間の表現は必ずしも一対一で対応するわけではない。また、類似した意味を持つ単語であっても、その言葉の使い方や、聞いたときに連想するイメージが異なる場合もあることに気づかされた。このプログラムを通じて、母語の世界を出て外国語を学ぶことは、新しい表現方法を知り、考え方を広げることにつながると感じた。世界の切り取り方が異なる外国語の世界に飛び出すことは、自分を取り巻く世界を多角的に見ることをも可能にするのではないだろうか。

監修 東京外国語大学 大学院国際日本学研究院
准教授 幸松 英恵 (ゆきまつ はなえ)

プロフィール：専門は日本語学。豊島区図書館経営協議会委員。

YouTubeで
動画も配信中!!



東京外国語大学オープンアカデミー短期日本語・日本文化研修プログラム「アニメ・マンガを使って探求しよう!」受講学生の連載コラム。2022年1月～2月、東京外国語大学にてオンライン日本文化研修が実施された。国内外の学生がZoomで繋がって、アニメ・マンガから日本文化の特徴を探求した。



「エクソフォニー」母語の外に出る旅
多和田葉子 / 著
岩波書店
2020年

図書館から見る豊島区の歴史

図書館というものは、これまでどのような道をたどり、今後どのような役割を果たしていくのでしょうか。区制施行90周年を迎えた豊島区の区立図書館が歩んできた歴史を振り返り、未来へ向けた展望をご紹介します。

これまでの歴史、これからの歴史 ～地域資料あれこれ～

豊島区立中央図書館 司書



地域資料と聞くと何を思い浮かべますか?

地域資料はこれまで、そしてこれからの地域を知るためあらゆる分野に関して収集していくかけがえのない資料です。

今回は図書館に所蔵している地域資料を紹介します。

①豊島区史

区の歴史や重要な出来事を調べるにはまず『豊島区史』です。明治時代までの豊島区は畑が多い地域でした。区制定以前の資料として、『西栗鴨町史』、『高田町史』も所蔵しています。

②地図

道路地図は区全域の大まかな位置関係を知るのに便利です。住宅地には建物名や戸別の情報が載っています。昭和30年代より前の地図には航空地図や火災保険図がありますが、保険会社の料率算定の為に作成されているため、保険が売れる見込みの市街地が主で、畑が多かった地域は掲載されていない所もあります。昔の地図と今の地図を見比べてみると、豊島区がどのように発展してきたかがひと目でわかります。



③行政資料

区で発行した区政に関する資料(刊行物)です。最近では資料のデジタル化が進んでいますが、図書館では書籍として保存しています。

④その他

古い地名を知りたい時は『角川日本地名大辞典』や『日本歴史地名大系』(中央図書館所蔵)を見てください。地名の成り立ちや変遷を知ることができます。



地域資料とは別に、区内各図書館が地域ごとの特色にあわせて収集している資料を紹介します。

駒込図書館は桜に関連する資料を充実させたソメイヨシノライブラリーを設置しています。染井村にはもともと植木屋が多くあり、ソメイヨシノ発祥の地と言われています。

巣鴨図書館は「地蔵」「中山道」「明治女学校」関連の資料収集に力を入れています。「地蔵通り商店街」は中山道で栄えた板橋宿に近い休憩所として発展した名残といえます。また野上弥生子氏らを輩出した明治女学校が1897年に校舎を新設したのが巣鴨でした。

上池袋図書館は旧国鉄用地に整備した上池袋さくら公園の一角にあり、現在もJR池袋電車区に隣接していることから、鉄道関係の本を収集しています。

池袋図書館は外国人居住の多い土地柄、中国を中心とした東アジア関連本を収集しています。近隣には江戸川乱歩氏が晩年を過ごした住居があり、乱歩コーナーが設けられています。

目白図書館は日本の児童文化運動の父とされる鈴木三重吉氏の自宅兼赤い鳥社が目白にあったことから、童話と童謡の雑誌『赤い鳥』関連資料を収集しています。

千早図書館の入口では鉄人28号が出迎えます。千早の地で晩年を過ごした漫画家横山光輝氏に係わる作品を収集しているのです。何度も映像化された桃太郎侍の著者で近隣の要町に住んでいた山手樹一郎氏の著作を集めたコーナーもあります。

中央図書館はトキワ荘出身の漫画家に関する資料を多数所蔵しています。マンガはもちろんアニメに関する本の収集にも力を入れています。5階では年6回地域に関する特集展示を行っています。

今年は区制施行90周年、図書館で豊島区の魅力を探してみませんか?

豊島区制90周年

「にぎやかな公共図書館フェスティバル」を開催します！

図書館ってどんなところ？

「調べ物をするところ」「読みたい本を借りに行くところ」「おはなし会で物語がふれるところ」…。

区制施行90周年を迎えた豊島区は、多くの人に身近な場所で、多くの人に利用される「にぎやかな公共図書館」をみなさんと一緒に作りあげていきます。この夏、図書館の「学ぶ」「楽しむ」「分かち合う」のワクワクな循環(わ)をひとつに集めたフェスティバルを開催します。



イベント詳細はこちら！



日時：令和4年7月27日(水)・28日(木) 午前10時～午後8時
会場：あうるすぽっと【豊島区立舞台芸術交流センター】
協力：株式会社ケイ・ブックス(執事喫茶Swallowtail)、株式会社サンシャインシティ、株式会社三省堂、りんごプロジェクト/NPO法人ピープルデザイン研究所、レイチェル・カーソン日本協会関東フォーラム
問い合わせ：中央図書館 TEL 03-3983-7861

おもてなし巣鴨図書館

豊島区立巣鴨図書館 館長 星 弘一(ほしこういち)

巣鴨図書館は高度成長期真っ只中の昭和43年8月に豊島区では2番目の図書館としてオープンしました。老朽化のため約1年間のお休みをいただき平成27年4月に全面改修を終え現在に至っています。



昭和50年夏撮影 入館待ちの行列

当館は区が直接運営をしており、区東側の駒込図書館と上池袋図書館(いずれも指定管理者が運営)と連携しながら様々なイベントを展開するほか指定管理運営の監督を行う区東側の地域中心館としての役割も担っています。

館の外観は、床面積1,018㎡と小さめですが、ソメイヨシノの大木(樹齢60年以上)3本など四季折々の草花が咲き誇る前庭、障子のある閲覧席など落ち着いた雰囲気でお客さまに心地よく滞在していただける空間となっています。そして館内には、お客様の図書お探しのお手伝いを積極的に行うホスピタリティにあふれた司書が大勢います。

ご存じのとおり、令和2年7月に豊島区は内閣府から「SDGs未来都市」と「自治体SDGsモデル事業」にダブル選定されました。これを受けて巣鴨図書館では、「親子向け特集展示」「クイズラリー」「SDGsおはなし会」などをいち早く実施。SDGs関連本の背表紙に17の目標アイコンを貼り、内容が一目でわかる工夫をしました。この取組は他の図書館でも行われるようになりました。

また、今年1月からは「りんごの棚」を児童コーナーに新設しました。この「りんごの棚」はスウェーデンの図書館で始まり、世界各地に広まっている取り組みで、「すべての子どもに読書の喜びを」をモットーに「布の絵本」「点字のついた絵本」「さわって楽しむ本」「LLブック(スウェーデン語で「やさしく読みやすい」の略)」「大きな文字の本(大活字本)」を揃えています。これらの取組は、出版社などから取材を受け雑誌などに紹介されています。

本年区制施行90周年を迎え、豊島区立図書館として様々なイベントを予定していますが、巣鴨図書館独自では前庭を利用するイベントを企画しています。改定されたばかりの「豊島区立図書館基本計画」にある「にぎやかな公共図書館」に着目し、イスやテーブルを用意して利用者のみなさまがくつろぎながら本を手取る空間をつくります。そこでコーヒーを出すキッチンカーを呼ぶ企画を進めています。

これからも巣鴨図書館をご利用いただくすべてのお客様に満足していただくために、サービスの向上に努めてまいります。



現在の巣鴨図書館(外観)

図書館カレンダー

開館時間

7月 一文月

8月 一葉月

9月 一長月

○は土日祝の開館時間
 ■は休館日

中央図書館	駒込・上池袋・千早図書館	巣鴨・池袋・自由図書館	雑司が谷図書館貸出コーナー
平日 午前10時～午後6時 土日祝 午前10時～午後6時	平日 午前9時～午後6時 土日祝 午前9時～午後7時	平日 午前9時～午後6時 土日祝 午前9時～午後7時	平日 午前10時～午後5時 土日祝 午前10時～午後7時
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

新航路 [61]



夏のお楽しみの復活です。

～みなさんぜひ遊びに来てくださいね～

豊島区立図書館7館の特別整理が今年も終わりました。特に中央図書館は共有部の大規模修繕を行いましたので、休館が長くなり皆様にはご不便をおかけしました。

中央図書館は早いもので開館から15年が過ぎ、今年度は廊下やトイレの床、リフレッシュコーナーの壁などの修繕を行いました。窓がないリフレッシュコーナー(飲食スペース)の再開は大きな課題でしたが、このスペースをいつまでも使用禁止にするのではなく、飲食スペースを減らすことで間隔をあげ、情報コーナーを設置することで利用を再開します。飲食スペースは少なくなりますが、多くの方に、館内とは少し違うほどで使えるスペースとして活用していただけたらと思っています。ぜひ譲り合ってください。

昨年、一昨年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、区も多くのイベントを休止していましたが、今年は感染対策を行いながら、様々なイベントが再開されています。私たち区立図書館も7月に夏のイベント「にぎやかな公共図書館フェスティバル」を開催します。

これまでなかなか実施できなかったおはなし会、そして懐かしい16ミリフィルムも上映します。職員が古い機械と古いフィルムを使って上映しますので、ハプニングがあるかもしれませんが、それも含めて一緒に楽しんでいただけたら嬉しいです。また、複数の企業、団体の皆様にもご協力をいただき、子どもから大人まで、少しでも多くの方に楽しんでいただけるよう工夫を凝らしています。今年のポスターデザインは中央図書館の司書が、本を通じたにぎやかな公共図書館のイメージを描いてくれました。図書館ファンを増やせるよう、図書館も次の100周年に向かって進んでいきます。

編集後記

4月から新しく図書館通信の担当になりました。「祝!区制施行90周年」第2弾ということで、豊島区の歴史、そして豊島区立図書館の歴史も、盛りだくさんでお送りしました。いかがでしたでしょうか。なかなか手にする機会のない地域資料など、よかつたらお近くの図書館で探してみてくださいね。次号の「図書館通信」もお楽しみに!(佐)

* 新型コロナウイルス感染防止等のため、開館日時が変更となる場合がございます。